

参観授業・学級懇談会・PTA総会を行いました

4月27日（土）、休日にもかかわらず、47名の方に来校していただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

全部で27家庭なのに47名ということは、出席率175%です。本校教育に対する関心の高さに驚くとともに、その期待の大きさに襟を正す思いです。

いずれの場においても笑顔があふれ、終始和やかな雰囲気でした。総会の中でも話しましたが、保護者の皆様のあたたかさが感じられ、とても心強いです。このよい関係がずっと続くよう、信頼が途切れぬよう、仕事に励みたいと思います。

さて、授業を参観し、授業評価アンケートにご協力いただいています。その自由記述欄に書いてあった事柄を、いくつか紹介します。

○授業がわかりやすかったです。生徒も楽しそうでした。

○複式学級は、想像以上に教室内が賑やかでした。先生が「声出し」を積極的に指導されているのもよくわかります。児童たちが大きな声であいさつができたり、自分の意見を言えるようになるよう、ご指導をお願いいたします。

○リーダーが指示をして、それに向かってみんなが取り組んでいる姿がよかった。それぞれリーダーの役割を学べるのがよいと思いました。

●3・4年生は、教室のせまさが気になりました。下の学年は、集中が難しいように感じます。

●児童の声が大きいため、先生の声、テレビの音が聞き取りにくく感じました。

貴重なご意見、ご感想ありがとうございました。教室の大きさは変えられないですが、互いに気遣って声の大きさを変えることは可能です。今後、大きな声と小さな声を必要に応じて使い分けることができるよう、子どもたちに指導をしていきます。

感想の中に「リーダーの役割を学べるのがよい」とありましたが、複式授業は「リーダーをいかに助けるのか」も学べることができます。この力は、今後社会の中で生きていく上で、必ず役立ちます。このように、複式授業の良さに着目し、指導をしていきたいと思います。



茶摘みに参加しました

5月2日（木）、岩国高校広瀬分校が主催する茶摘みに、中学年の児童が参加しました。毎年八十八夜のこの日に開催されるのですが、今年は特別です。というのも、広瀬分校が今年度で閉校になるため、もしかしたら最後の茶摘みになるかもしれないからです。岩国高校の校長先生が「この茶摘みができるのも、先輩方がつないでくれた歴史があるからです」という旨の話をされていました。地域の特別な行事として、今後も残ってくれたらよいなあと思っています。

摘んだ茶葉を午後からお茶っ葉に加工するという目的もあり、子どもたちは「採るぞ〜」と意気込んでいました。天気がよく、高校生も優しく導いてくれ、大変楽しい一時になったようです。

午後からの茶葉の加工や午前中の茶摘みには、錦町食生活改善推進協議会の方や地域の方がお手伝いをしてくださいました。おかげでたくさんのお茶を作ることができ、子どもたちも大喜びです。本当にありがとうございました。

加工は「煎り（蒸し）」「揉み」「乾燥」の手順を踏むのですが、一番子どもたちが楽しみにしていたのが「揉み」です。むしろの上で、お茶のエキスをよく出るように、一生懸命に揉みました。できあがったお茶は、各家庭に持ち帰る予定です。子どもたちの心がこもったお茶を、ぜひ味わってください。



一年生を迎える会を催しました



5月1日（水）、執行部主催で一年生を迎える会を催しました。一緒にゲーム等をして、笑顔あふれる会となりました。終わった後、1年生に「楽しかった人？」と尋ねると、全員がまっすぐ手を挙げてくれました。一生懸命準備してくれた児童も、報われたと思います。

会の最中いたる所で、中・高学年生が低学年生を気遣う場面を目にすることができました。そのさりげない優しさは、これまで先輩に同じように気遣ってもらったから、身についているものです。本校の良き伝統として、今後も引き継いでほしいです。

